

その他

1. お産に関する書類について

お産に関する諸手続き

【出生証明書】

お産後に担当助産師がお渡しします。

生後14日以内に出生の届出が必要です。赤ちゃんのお名前が決まったら、①本籍のある市区町村、②住民票のある市区町村、③出生地(三鷹市)の市役所のいずれかに出生届を提出してください。

○届出の日について？

役所の窓口で提出する日です。

○生まれた所って？

産声を上げた所。
病院で生まれたら、
病院の住所です。

○住所はどこ？

親が住民登録をしている
住所を書きます。

○届出人って？

窓口を持って行く人ではなく、
出生届に対する責任を負う人
です。普通父親又は母親が
届け人です。

○父母との続柄とは？

「嫡出子」は、婚姻届を出している男女の間に生まれた子。「嫡出ではない子」は法的に結婚していない女性から生まれた子。長男・長女なら、「長」を使いますが、2番目の場合は、「二男」「二女」と書きます。

※文字は楷書で！

出生届に書いた名前がそのまま戸籍の原本に記載されます。
間違わないようにはっきり書きましょう。

【出生届の提出の仕方】

☆いつまでに？ 赤ちゃんが生まれた日を含めて14日以内に提出が必要です。土日や祝日も手続き可能な役所もあります。また、期限の14日目が日曜・祝日に当たる場合は、その翌日まで期限が延長されます。詳しくは、提出先の役所にお問い合わせください。

☆どこへ出す？ ①～③のいずれかの役所です。

①父母の本籍地 ②父母の住民票がある所 ③赤ちゃんが生まれた所(三鷹市)

☆持って行くものは？

・出生届 ・出生届の記入に使用した印鑑 ・母子健康手帳

☆提出する人は？

届出義務者は赤ちゃんの「父」または「母」ですが、役所の窓口で手続きを行うのは誰でも大丈夫です。

☆その他に

役所によっては、出生届の受理と同時にその後の保険・医療サービスに関する手続きをしてくれる所もあります。その際には、健康保険証が必要なこともありますので、事前に役所に問い合わせると二度手間になりません。

【先天代謝異常検査申込書】

お産後に担当助産師がお渡しします。必要事項を記入の上、産後2日目までに返信用封筒と一緒にスタッフへお渡しください。

申込書に記入する電話番号は、確実に連絡の取れる産婦の携帯電話等をお願いします。検査結果について直接お問い合わせさせていただく事があります。

【新生児聴覚検査受診票】

妊娠届出の際、母子健康手帳と共に交付されます。検査費用の一部を助成するためのものです。聴覚検査は任意の検査になります。こちらの受診票が無い場合、検査費用は全額自費となります。※都外にお住まいの方は、各自自治体にお問い合わせください。

【診断書・証明書等の書類】

○勤務先や保険会社に提出が必要な書類(出産や入院の証明が必要なもの)は、退院日以降(退院当日も可)に直接窓口でお申込みください。書類の作成には約20日間かかります。

【受付場所】 外来棟1階 文書受付11.12番窓口

【受付時間】 平日9～16時、土曜9～12時

○入院中にその他の診断書・証明書等が必要な方は、病棟事務担当者までご相談ください。

【産科医療補償制度】

2009年1月以降に生まれた赤ちゃんを対象にスタートした制度です。

お産の際に脳性麻痺となった赤ちゃんやその家族の経済的負担を補償し、脳性麻痺となった原因分析を行う等の目的があります。当院はこの制度に加入していますので、受診されている皆様にご登録いただいております。

制度に関する詳細は、(財)日本医療機能評価機構のホームページをご確認ください。

退院後の健診予約

【1ヶ月健診の予約】

お母さん：・産褥4日目または5日目の退院診察の際、医師が予約をお取りします。

- ・予約の確認票をお渡します。
- ・健診場所は産科外来です。妊婦健診時と同様に尿検査を済ませ、血圧・体重を測定しお待ちください。
- ・母子手帳を忘れずにお持ちください。

赤ちゃん：・入院中に、病棟事務担当者が予約をお取りします。

- ・健診場所は小児科外来です。
- ・母子手帳を忘れずにお持ちください。

【2週間健診の予約】

助産師による健診です。(P55)退院までに予約をお取りします。

2. 子育て支援サービスについて

赤ちゃんが育つには様々な人の助けが必要です。お母さんや赤ちゃんをサポートするため、妊娠中や産後に利用できる様々な子育て支援サービスがあります。詳しくはお住いの各自治体のお知らせをご覧ください。自分に合った社会資源を上手に活用し、無理のない育児をしましょう。

※サービスによって、事前登録や予約が必要です。予め出産前に調べ、必要なものに申し込んでおきましょう。

当院の患者支援センターで、医療福祉相談をお受けしています。妊娠や出産に伴う経済的なことや不安なこと等についてご相談ください。利用できる社会資源や制度の案内、サービスの利用について一緒に考えていきます。

例)「出産の費用が心配」「入院中に上の子が利用できるサービスについて知りたい」「初めての出産で不安」「育児をサポートしてくれる人がいない」等

※相談のご希望がありましたら、妊婦健診の際、医師又は助産師にお声掛けください。お電話での相談も可能です。

※産後の入院中に医療ソーシャルワーカーがお部屋に伺うことがあります。

3. 入院案内

面会時間

- ・平日(月～土): 14時～20時
- ・日・祝祭日: 13時～20時

- 15歳以下のお子様やご兄弟、ご友人は病室には入れません。ご面会はデイルームをお願いします。
- 時間外の面会をご遠慮願います。面会時間に都合のつかない場合は、助産師にご相談ください。
- ご面会に見えた方は安全管理のため、必ず警備室で面会者証を受け取り、首から下げるなど分かるように表示してください。その後ナースステーションに声をかけて、ノートに来院時間・帰宅時間を記入して下さい。ご協力よろしくお願いします。

入院中の指導

退院指導: タブレットでご視聴いただきます。

沐浴指導(毎週火・木・日曜日): 14時からナースリールームで行っています。

- ご希望により、ご自身またはお父さんがお風呂に入れる個別沐浴指導も行っています。担当助産師にご相談ください。

調乳指導: 不定期

4. 母子同室

母子同室とは… お母さんと赤ちゃんが、常に同じ部屋で一緒に過ごすことです。母子同室にはたくさんのメリットがあります。

母子同室のメリット

☆**母と子の絆を深める(母子相互作用・愛着形成促進)** 母と子の絆は母親と赤ちゃんとのスキンシップ、やさしく語りかけること、見つめ合うこと、微笑みかけることなどにより育まれます。

☆**母乳育児の確立につながる** 赤ちゃんが常にそばにすることで、赤ちゃんからのサインをすぐに読み取りすぐに母乳を与えることができます。赤ちゃんの泣き声を聞くことによって母乳の生産が促され、頻回に授乳をすることで乳汁分泌も促されます。

☆**育児に自信をもって退院できる** 赤ちゃんの欲求を理解しやすく、何度もおむつ交換や授乳をすることで育児に慣れることができます。

☆**赤ちゃんを感染から守る** 皮膚接触や授乳回数が多い赤ちゃんは、感染への抵抗力が上がると言われています。

☆**母体の身体回復につながる** 赤ちゃんの泣き声を聞いて、赤ちゃんの欲求に応えようと行動することで、悪露の排泄促進や体力の回復につながります。

病院MAP

夜間・分娩時の受診場所のご案内

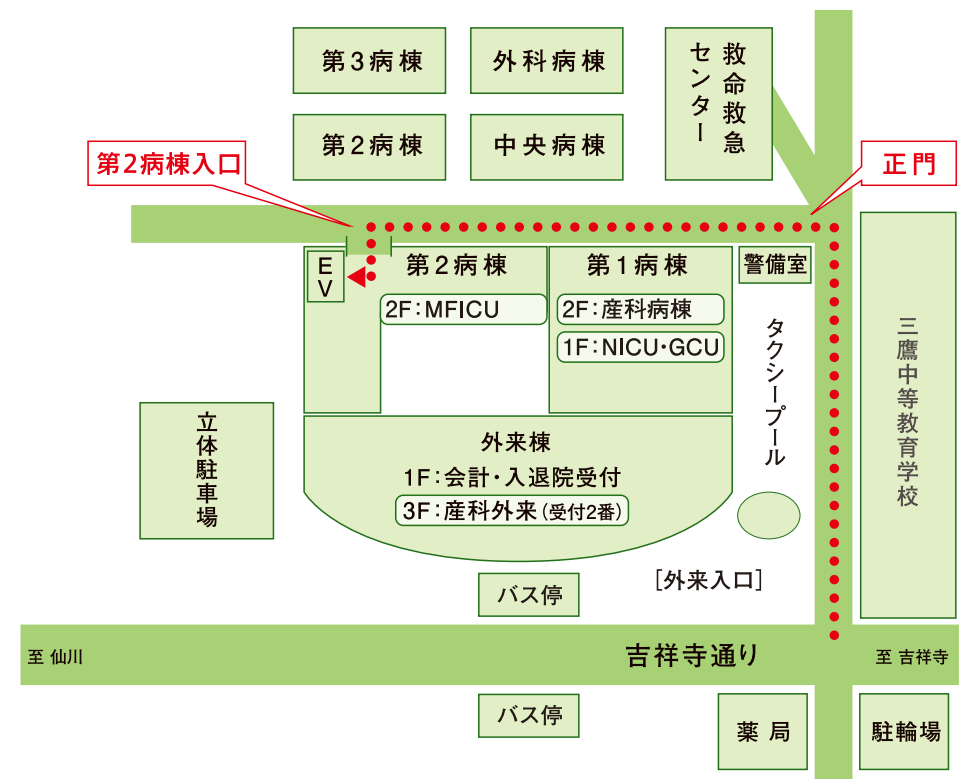
■夜間や分娩で受診される場合は、第2病棟2階のMFICU病棟へお越しください。
※場合によっては救急外来(救急救命センター)に受診していただくことがあります。

その場合はお電話でお伝えします。指定された場所へお越しください。

■第2病棟入口のエレベーターで2階に昇ってください。エレベーターを降りて正面に見える自動ドアがMFICU病棟入口です。右手にあるインターホンを押し、お名前をお伝えください。

※ご不明な際は、警備室にお尋ねください。

■産科外来・病棟 案内図



お電話でお聞きする内容

- お名前 _____
- 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
- 登録番号 _____ (診察券の7桁または8桁の番号)
- 分娩予定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
- 妊娠週数 _____
- お腹の張りの有無 (いつごろから、どのくらいの間隔で、どこが痛みますか、など)
- 破水の有無 (いつごろから、どのような具合ですか、など)
- 出血の有無 (いつごろから、どの程度の量ですか、など)
- 合併症の有無 _____
- 妊娠経過・外来時の内診所見 _____
- 病院までの交通機関と所要時間 _____
- ご本人の携帯電話番号 _____

連絡先

杏林大学医学部付属病院

住所：〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

電話：0422-47-5511 (代表) 「1-2病棟(産科)」まで

※交換手が出ましたら、1-2病棟(産科)へ繋ぐようにお伝えください。

おわりに

妊娠・出産は、女性・家族にとって幸せで貴重な出来事であり、子育ては、次世代を担う人を育てるという、これから長く続く大仕事です。

人生の大きな第1歩を歩み始めた、あなたの力になりたい。そんな思いを込めてこの冊子を作成しました。

妊娠した女性は産むチカラをもっています。赤ちゃんは生まれるチカラをもっています。それぞれがもつチカラを最大限に発揮し、家族のパワーも重なりあったとき、家族みんなにとっての素晴らしい、温かいお産につながるのだと思います。

主役はお母さん、赤ちゃん、家族のみんなです。そのような素敵な出産・育児のお手伝いを、私たちはしていきたいと思っています。

私たちはいつもそばにいます。

杏林大学医学部付属病院

総合周産期母子医療センター スタッフ一同

HelloBaby





He

B

HelloBaby



妊娠・出産・産後の手引書
杏林マタニティブック



杏林大学医学部付属病院

KYORIN UNIVERSITY HOSPITAL

〒181-0004 東京都三鷹市新川6-20-2 Tel:0422-47-5511